

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : High Pure FFPE Micro Kit
製品番号 : 04823125001

供給者情報

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区芝2-6-1
1050014

電話番号 : 03-5443-5128
FAX番号 : 03-5443-5299
担当部門 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門 クオリティーマネジメント部

緊急連絡電話番号:
緊急連絡先: : カスタマーサポートセンター
0120-600-152
: 03-5443-5287 (LS)

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。

担当部署 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門
クオリティーマネジメント部

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の情報は組成及び成分情報を参照ください。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 + H312 + H332 飲み込んだり, 皮膚に接触したり, 吸入すると有害
H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H334 吸入するとアレルギー, ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

: 安全対策:

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P264 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P285 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

P301 + P312 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な 場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間 注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける こと。

P330 口をすすぐこと。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

P342 + P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

P362 汚染された衣類を脱ぐこと。

保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

Tissue Lysis Buffer

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

危険有害成分

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号
尿素	57-13-6	>= 20 - < 30	2-1732
エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物	6381-92-6	>= 1 - < 10	2-1265

Proteinase K, PCR grade

GHS分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 : 区分2A

呼吸器感作性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

特定標の臓器毒性, 単回ばく
露 : 区分3 (気道刺激性)

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号
プロテイナーゼ K	39450-01-6	>= 80 - < 90	

Binding Buffer

GHS分類

急性毒性 (経口) : 区分4

急性毒性 (吸入) : 区分4

急性毒性 (皮膚関連) : 区分4

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 : 区分2A水生環境有害性 (急性有害
性) : 区分3水生環境有害性 (長期間有害
性) : 区分3

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号
グアニジンチオシアナート	593-84-0	>= 50 - < 60	
ポリオキシアルキレン (C = 2 ~ 4, 8) モノ [アルキル又はアルケニル (C = 1 ~	9002-93-1	20	7-172(7)-172

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

18) フェニル] エーテル (n = 1 ~ 150)			
ジチオトレイトール	3483-12-3	>= 1 - < 10	

Wash Buffer I / Inhibitor Removal Buffer

GHS分類

急性毒性 (経口) : 区分4

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 : 区分2A

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号
塩酸グアニジン	50-01-1	>= 60 - < 70	

Wash Buffer

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

危険有害成分

この製品には日本の規制リストに載っている化学物質、GHS に準拠して分類される化学物質やGHS で定められたカットオフ値以上を含有する化学物質は含まれていません。

DNase I

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 : 区分2A

呼吸器感作性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号
DNase I, Desoxyribonuclease I from bovine pancreas EC 3.1.21.1, Grade II	9003-98-9	>= 70 - < 80	
Calciumchloride-2-hydrate	10035-04-8	>= 1 - < 10	1-176

Incubation Buffer (10x)

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

危険有害成分

この製品には日本の規制リストに載っている化学物質、GHS に準拠して分類される化学物質や GHS で定められたカットオフ値以上を含有する化学物質は含まれていません。

Elution Buffer (EB)**GHS分類**

GHS分類基準に該当しない。

危険有害成分

この製品には日本の規制リストに載っている化学物質、GHS に準拠して分類される化学物質や GHS で定められたカットオフ値以上を含有する化学物質は含まれていません。

4. 応急措置

- | | |
|-----------------------|---|
| 一般的アドバイス | : 危険域から避難させる。
医師に相談する。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。 |
| 吸入した場合 | : 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付いた場合水で十分にすすぐ。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。 |
| 眼に入った場合 | : 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。
眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。
病院に運ぶ途中、眼を洗浄し続けます。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。 |
| 飲み込んだ場合 | : 気道を確保する。
無理に吐かせないこと。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
直ちに被災者を病院に連れて行く。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | : 情報無し。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。 |

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
粉塵の発生を避ける。
粉塵を吸い込まないよう留意。
十分な換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。

廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

- 安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
蒸気/粉塵を吸い込まない。
曝露を避ける－使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
作業室の換気や排気を十分に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。
- 接触回避 : 強酸化剤

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

酸類
シアン化物

衛生対策

: 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件

: 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま
っすぐ立てておく。
ラベルの予防措置を遵守する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ
ならない。

8. ばく露防止及び保護措置

Tissue Lysis Buffer

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形 態)	管理濃度 / 許容濃 度	基準
urea	57-13-6	TWA	10 mg/m ³	US WEEL

Proteinase K, PCR grade

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

職業暴露限界値のある物質を含まない。

Binding Buffer

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

職業暴露限界値のある物質を含まない。

Wash Buffer I / Inhibitor Removal Buffer

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

職業暴露限界値のある物質を含まない。

Wash Buffer

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

職業暴露限界値のある物質を含まない。

DNase I

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

職業暴露限界値のある物質を含まない。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

Incubation Buffer (10x)

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

職業暴露限界値のある物質を含まない。

Elution Buffer (EB)

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

職業暴露限界値のある物質を含まない。

保護具

- | | | |
|-------------|---|--|
| 呼吸用保護具 | ： | 粉塵およびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
総粉塵の濃度が10 mg/m ³ 以上の場所では防塵マスクが推奨される。 |
| 手の保護具
品名 | ： | 保護手袋 |
| 備考 | ： | 選ばれた防護手袋は、EU指令89/686/EECの仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。ある特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。 |
| 眼の保護具 | ： | 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | ： | 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。 |

9. 物理的及び化学的性質

Tissue Lysis Buffer

- | | | |
|-----|---|-------|
| 外観 | ： | 液体 |
| 色 | ： | 無色 |
| 臭い | ： | 無い |
| pH | ： | 7.4 |
| 引火点 | ： | データなし |

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

燃焼性（固体、気体）	： この製品はGHS分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	： データなし
爆発範囲の下限	： データなし
溶解度	
水溶性	： 完全に混和性である
自然発火温度	： データなし
分解温度	： データなし
酸化特性	： この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

Proteinase K, PCR grade

外観	： 固体
色	： 白
臭い	： 極めて僅か
pH	： 6.5, (水溶液として)
融点・凝固点	： データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	： データなし
引火点	： 引火せず
爆発範囲の上限	： データなし
爆発範囲の下限	： データなし
溶解度	
水溶性	： 完全に溶ける
自然発火温度	： データなし
分解温度	： データなし
酸化特性	： この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

Binding Buffer

外観	： 液体
色	： 青
臭い	： 無い
pH	： 6.0

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: この製品はGHS分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

Wash Buffer 1 / Inhibitor Removal Buffer

外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無い
pH	: 6.6
引火点	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: この製品はGHS分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

Wash Buffer

外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無い

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

pH	: 7.5
引火点	: データなし
燃焼性 (固体、気体)	: この製品はGHS分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

DNase I

外観	: 固体
色	: 淡黄色
臭い	: 無臭
pH	: 6.5 - 7.5, (水溶液として)
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 引火せず
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
溶解度	
水溶性	: 可溶性
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

Incubation Buffer (10x)

外観	: 液体
色	: 無色

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

臭い	: 無い
pH	: 7.9
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
燃焼性 (固体、気体)	: この製品はGHS分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

Elution Buffer (EB)

外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無い
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: 100 °C
引火点	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: 23 hPa (20 °C)
比重	: 1 g/cm ³ (20 °C)
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

酸化特性 : この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
- 化学的安定性 : 通常の状態では安定。
- 危険有害反応可能性 : 酸と接触すると、猛毒ガスを発生。
熱や発火源から遠ざける。

指示通り保管/適用すれば分解しない。
- 避けるべき条件 : 光線への暴露。
湿気への暴露。
熱。
- 混触危険物質 : 強酸化剤
酸類
シアン化物
- 危険有害な分解生成物 : 熱分解により、刺激性のガスと蒸気が発生することがある。
火災の際、次のような有害分解が起こる可能性がある:
炭素酸化物
窒素酸化物(NO_x)
塩化水素ガス (HCl)。
アンモニア

11. 有害性情報

Tissue Lysis Buffer

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

製品:

急性吸入毒性 : 急性毒性の推定 : > 5 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/噴霧
方法: 計算による方法

成分:

尿素:

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 8,471 mg/kg

LD50経口 (マウス): 11,000 mg/kg

急性吸入毒性 : 急性毒性の推定 : > 30 mg/l
方法: 専門家の判断

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

急性経皮毒性 : 急性毒性の推定 : > 5,001 mg/kg
方法: 専門家の判断

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): > 2,000 mg/kg
被験物質: 無水物質

LD50経口 (ウサギ): 2,300 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 (ラット): 1 - 5 mg/l
曝露時間: 6 h
試験環境: ダスト/噴霧
方法: OECD 試験ガイドライン 403
被験物質: 無水物質

急性毒性の推定 : 1.5 mg/l
試験環境: ダスト/噴霧
方法: 専門家の判断

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験

備考: In vitro試験で、突然変異誘発性が示されなかった

発がん性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**尿素:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単一暴露)としては未分類。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

成分:**尿素:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復暴露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**尿素:**

データなし

Proteinase K, PCR grade**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

製品:

備考: 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

成分:**プロテイナーゼK:**

結果: 皮膚に刺激性。

備考: 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

製品:

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:**プロテイナーゼK:**

結果: 眼に刺激性。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器感作性: 吸入するとアレルギー, ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。

製品:

備考: 感作を起こす。

成分:**プロテイナーゼK:**

アセスメント: 皮膚に触れると感作を起すことがある。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

備考: 感作を起こす。

アセスメント: 吸入による感作発生の可能性。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

呼吸器への刺激のおそれ。

成分:**プロテイナーゼK:**

アセスメント: 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**プロテイナーゼK:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復暴露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**プロテイナーゼK:**

データなし

Binding Buffer**急性毒性**

飲み込んだり, 皮膚に接触したり, 吸入すると有害

製品:

急性経口毒性	: 急性毒性の推定: 704.25 mg/kg 方法: 計算による方法
急性吸入毒性	: 急性毒性の推定: 2.54 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: ダスト/噴霧 方法: 計算による方法
急性経皮毒性	: 急性毒性の推定: 1,864 mg/kg 方法: 計算による方法

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

成分:**グアニジンチオシアナート:**

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 593 mg/kg

急性吸入毒性 : 急性毒性の推定 : 1.5 mg/l
試験環境: ガスト/噴霧
方法: 専門家の判断急性経皮毒性 : 急性毒性の推定 : 1,100 mg/kg
方法: 専門家の判断**ポリオキシアルキレン (C = 2 ~ 4 , 8) モノ [アルキル又はアルケニル (C = 1 ~ 18) フェニル] エーテル (n = 1 ~ 150):**

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 1,900 - 5,000 mg/kg

急性毒性の推定 : 500 mg/kg
方法: 専門家の判断

急性経皮毒性 : LD50経皮 (ウサギ): > 3,000 mg/kg

ジチオトレイトール:

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 400 mg/kg

急性毒性 (その他の経路) :
症状: 不整脈を引き起こす可能性がある。、ひきつけ、嘔吐**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

製品:

備考: 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

成分:**ジチオトレイトール:**

結果: 皮膚に刺激性。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

製品:

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:**ポリオキシアルキレン (C = 2 ~ 4 , 8) モノ [アルキル又はアルケニル (C = 1 ~ 18) フェニル] エーテル (n = 1 ~ 150):**

結果: 眼に重傷のおそれ。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

ジチオトレイトール:

結果: 眼に刺激性。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:

グアニジンチオシアナート:

備考: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

Wash Buffer 1 / Inhibitor Removal Buffer

急性毒性

飲み込むと有害。

製品:

急性経口毒性 : 急性毒性の推定 : 706.85 mg/kg
方法: 計算による方法

成分:

塩酸グアニジン:

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 475 mg/kg
LD50経口 (マウス): 571 mg/kg
LD50経口 (ラット): 1,120 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 (ラット, メス): 3.2 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/噴霧

LC50 (ラット, オスおよびメス): 5.3 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/噴霧

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

LC50 (ラット, オス): 7.7 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: ダスト/噴霧

急性経皮毒性 : LD50経皮 (ウサギ): > 2,001 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

製品:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:**塩酸グアニジン:**

種: ウサギ

結果: 皮膚に刺激性。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

製品:

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:**塩酸グアニジン:**

種: ウサギ

結果: 眼に刺激性。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**塩酸グアニジン:**

アセスメント: 動物実験では感作性なし。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**塩酸グアニジン:**生殖細胞変異原性- アセスメント : エームズ試験において変異原性無し。
ント**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

Wash Buffer**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

DNase I**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

製品:

急性経口毒性 : 急性毒性の推定 : > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

成分:**Calciumchloride-2-hydrate:**

急性経口毒性 : LD50 (ラット): 1,000 mg/kg

急性経皮毒性 : LD50 (ラット): 2,630 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

製品:

備考: 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

成分:**Calciumchloride-2-hydrate:**

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

製品:

備考: 製品の粉塵は、眼、皮膚、呼吸器官に刺激がある。

成分:**Calciumchloride-2-hydrate:**

結果: 眼への刺激

分類: 眼に刺激性。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器感作性: 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

製品:

備考: 感作を起こす。

成分:**DNase I, Desoxyribonuclease I from bovine pancreas EC 3.1.21.1, Grade II:**

アセスメント: 吸入による感作発生の可能性。

アセスメント: 皮膚に触れると感作を起すことがある。

Calciumchloride-2-hydrate:

アセスメント: 動物実験では感作性なし。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

発がん性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**Calciumchloride-2-hydrate:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単一暴露)としては未分類。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**Calciumchloride-2-hydrate:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復暴露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**Calciumchloride-2-hydrate:**

データなし

Incubation Buffer (10x)**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

特定標的臓器毒性，単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

Elution Buffer (EB)**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り未分類。

12. 環境影響情報***Tissue Lysis Buffer*****生態毒性****製品:**

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ

: 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物

: データなし

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

成分:**尿素:**

魚毒性 : LC50 (レウシスクスイドゥス(ゴールデンオーフェ)): > 6,810 mg/l
曝露時間: 96 h

藻類に対する毒性 : EC50 (ダフニアマグナ(ミジンコ)): > 10,000 mg/l
曝露時間: 24 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:

魚毒性 : LC50 (ピースィリアレティクラタ(グッピー)): 約 320 mg/l
曝露時間: 96 h
被験物質: 無水物質

LC50 (レウシスクスイドゥス(ゴールデンオーフェ)): > 500 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (ミジンコ属): > 100 mg/l
曝露時間: 24 h

藻類に対する毒性 : ErC50 (デスマデスマス・スプスピカトゥス(緑藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

バクテリアに対する毒性 : EC50 (Pseudomonas putida (シュードモナス プチダ)): 56 mg/l
曝露時間: 8 h
被験物質: 無水物質

環境毒性アセスメント

水生環境有害性(急性有害性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性(長期間有害性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性**成分:****エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:**

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

生分解性 : 生分解: 3 %
試験期間: 30 d
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C.4.C.
備考: 生物分解性試験結果によれば本製品は容易に生体内で分解されない。

生化学的酸素要求量 (BOD) : 10 mg/g
インキュベーション時間: 5 d

生体蓄積性

成分:

尿素:

n-オクタノール / 水分配係数 : log Pow: -2.59 - -1.59

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

オゾン層への有害性

非該当

Proteinase K, PCR grade

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント

土壤の毒性データ : 土壤に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

成分:

プロテイナーゼK:

環境毒性アセスメント

土壤の毒性データ : 土壤に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

オゾン層への有害性

非該当

Binding Buffer**生態毒性****製品:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

成分:**グアニジンチオシアナート:**魚毒性 : LC50 (ピースィリアレティクラタ(グッピー)): 89.1 mg/l
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (ミジンコ属): 42.4 mg/l
曝露時間: 48 h**環境毒性アセスメント**水生環境有害性(長期間有害
性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**ポリオキシアルキレン(C = 2 ~ 4, 8)モノ[アルキル又はアルケニル(C = 1 ~ 18)フェ
ニル]エーテル(n = 1 ~ 150):**魚毒性 : LC50 (ピメファレスプロメラス(ファットヘッドミノウ)): 4 -
8.9 mg/l
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (ダフニアマグナ(ミジンコ)): 18 - 26 mg/l
曝露時間: 48 h**環境毒性アセスメント**水生環境有害性(急性有害
性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。水生環境有害性(長期間有害
性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

ジチオトレイトール:ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (ダフニアマグナ(ミジンコ)): 27 mg/l
曝露時間: 48 h

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

ポリオキシアルキレン (C = 2 ~ 4, 8) モノ [アルキル又はアルケニル (C = 1 ~ 18) フェニル] エーテル (n = 1 ~ 150):

生分解性 : 生分解: > 60 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

生体蓄積性

成分:

グアニジンチオシアナート:

n-オクタノール / 水分配係数 : log Pow: -1.38

ポリオキシアルキレン (C = 2 ~ 4, 8) モノ [アルキル又はアルケニル (C = 1 ~ 18) フェニル] エーテル (n = 1 ~ 150):

生体蓄積性 : 備考: 生物蓄積は予期されない (log Pow <= 4)。

ジチオトレイトール:

n-オクタノール / 水分配係数 : log Pow: 約 -0.48

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。、長期継続的影響によって水生生物に有害。

オゾン層への有害性

非該当

Wash Buffer 1 / Inhibitor Removal Buffer

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

成分:**塩酸グアニジン:**

魚毒性 : LC50 (レウスィスクスイドゥス(ゴールドンオーフェ)): 1,759 mg/l
曝露時間: 48 h

バクテリアに対する毒性 : EC50 (Pseudomonas putida (シュードモナス プチダ)): 89 mg/l
曝露時間: 18 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性有害性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 (長期間有害性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性**成分:****塩酸グアニジン:**

生分解性 : 生分解: < 70 %
備考: 生物分解性試験結果によれば本製品は容易に生体内で分解されない。

汚泥処理に対するインパクト : この製品は、前処理 (生物学的処理場) なしに水中に放出してはならない。

生体蓄積性**成分:****塩酸グアニジン:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 約 -1.7 (20 °C)

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

オゾン層への有害性

非該当

Wash Buffer**生態毒性****製品:**

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

環境毒性アセスメント
 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

オゾン層への有害性

非該当

DNase I

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント
 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

成分:

DNase I, Desoxyribonuclease I from bovine pancreas EC 3.1.21.1, Grade II:

環境毒性アセスメント
 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

Calciumchloride-2-hydrate:

魚毒性 : LC50 (レポミスマクロチルス (ブルージルマンボウ)): 10,650 mg/l
 曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物
 に対する毒性 : EC50 (ダフニアマグナ(ミジンコ)): 144 mg/l
 曝露時間: 48 h

バクテリアに対する毒性 : EC50 (バクテリア): > 100 mg/l

環境毒性アセスメント
 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

オゾン層への有害性

非該当

*Incubation Buffer (10x)***生態毒性****製品:**

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

オゾン層への有害性

非該当

*Elution Buffer (EB)***生態毒性****製品:**

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意**廃棄方法****残余廃棄物**

: 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装

: 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意**国際規制****IATA**

非危険物

IMDG

非危険物

ADR/RID, ADNR, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における
非危険物

国内法規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令***Tissue Lysis Buffer*****関連法規****消防法**

非該当

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

個品輸送 : 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

Proteinase K, PCR grade

関連法規

消防法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送

: 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

Binding Buffer**関連法規****消防法**

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

化学名	番号	濃度又は濃度範囲 (%)
ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル	408	20

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送

: 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

Wash Buffer 1 / Inhibitor Removal Buffer

関連法規

消防法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高压ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

Wash Buffer

関連法規

消防法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高压ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

産業廃棄物

*DNase I***関連法規**

消防法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高压ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送

: 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

*Incubation Buffer (10x)***関連法規****消防法**

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送

: 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

Elution Buffer (EB)**関連法規****消防法**

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

High Pure FFPE Micro Kit

版番号 1.1

改訂日 2014/07/15

発行日 2014/07/31

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。